

 全国産業廃棄物連合会 青年部協議会 第9回全国大会（名古屋大会）

報告された取り組みは、2014年11月21日に催行された第9回全国大会（名古屋大会）にて評価・審査され、8部門の合計12の取り組みが表彰されました。



全国産業廃棄物連合会 青年部協議会 第9回全国大会
中部大会 in名古屋 2014.11.21 [FR]
会場：ウェスティンナゴヤキャッスル

 取り組み事例の評価方法

報告された取り組みは、各ブロック部長より構成される全国幹事会メンバーと青年部協議会事務局による審査委員会によって点数制で評価されました。

評価に当たっては、経営者の思いや直接影響を与えるステークホルダーにとっての意味が明確か、社会や地域にとっての貢献度やオリジナリティ、ユニークさなどの評価基準によって点数制で評価されました。

4年前より始めた「CSR2プロジェクト」、CSR活動を止めてしまふのはもったいないと全員一致で決断したスプリングカンファレンス2013。その思いを踏まえ「CSR2プロジェクト継承と進化」はスタートしました。その「CSR2プロジェクト継承と進化」の集大成の場である全国産業廃棄物連合会青年部協議会第9回全国大会中部大会を名古屋の地にて開催するにあたり 会員の皆様により御礼申し上げます。今大会では各地域ブロックによる活動発表、各都道府県での環境教育報告、各企業・団体による優秀なCSR活動表彰等、盛り沢山の内容にて開催させていただきます。



全国産業廃棄物連合会 青年部協議会
会長 加山 順一郎



全国産業廃棄物連合会 青年部協議会
中部ブロック長 浅井 明利

ようこそ名古屋へ！皆様の御越しを中部ブロック一岡、心より感謝申し上げます。多岐の全国大会開催にあたり、全国の大きな流れと各都道府県特有の問題、それらを結びつけ円滑に進める為には地域ブロックの活動は不可欠なものであると再確認いたしました。そのため、今回の全国大会においては各地域ブロックの活動発表を中心とさせていただきます。大会名も従来の都市名から地域ブロック名とし、中部ブロック一岡となり皆様をおもてなしさせていただきます。今回のテーマである「継承と進化へ新たな挑戦！」の通り、我々青年部は先人の思いを継承しつつ時代に合わせた進化を遂げ、新たな分野への挑戦を止めてはなりません。各地域ブロックの活動を参考にするとともに、全国の仲間と大いに親睦を深めて頂き、そのきっかけとして頂ければ幸いです。さらぬもは多々あるかと思いますが、皆様大いにお楽しみ下さい！

Program

- 第1部 ○オープニングセレモニー** [13:30~14:15]
たくさんのご来賓の方々にお越し頂き、盛大に開会式を開催致します。
- 第2部 ○CSR2プロジェクト表彰式並びに各都道府県・ブロック発表** [14:15~18:10]
各企業で取り組んで頂いたプロジェクトの表彰式と各都道府県の取組みVTR及び各ブロックの取組み発表を行います。
- 第3部 ○大懇親会** [18:30~20:00]
中部ブロック4県自慢のご当地グルメを皆様にご堪能して頂きます。

Access



ウェスティンナゴヤキャッスル
〒451-8551 愛知県名古屋市中区西区橋の口町3番19号
TEL:052-521-2121
○中核方面から：名古屋高速より「黒川」出口より約10分
○東区方面から：名古屋高速より「明通町」出口より約5分
○豊田方面から：名古屋高速より「丸の内」出口より約5分
○中部国際空港より約60分
○地下鉄有楽町線出口より徒歩約10分

お問い合わせ
主催：全国産業廃棄物連合会 青年部協議会
主管：全国産業廃棄物連合会 青年部協議会 中部ブロック
事務局：公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号 県庁西館9階
TEL:054-255-8285 FAX:054-252-2845

 表彰された取り組み * 法人名は移行後の現在の名称を使用

1	ご当地CSR活動部門	一般社団法人茨城県産業廃棄物協会青年部 公益社団法人神奈川県産業廃棄物協会
2	コンプライアンス部門	近畿環境保全株式会社
3	環境貢献部門	ティー・ビー・ロジスティクス株式会社
4	社会貢献部門	近畿環境保全株式会社
5	地域貢献部門	福井興業株式会社
6	ステークホルダーとの共同実施部門	三和興業株式会社
7	びりり部門	甲陽興産株式会社 株式会社興徳クリーナー
8	人づくり部門	仲田総業株式会社 街クリーン株式会社 三木資源株式会社

ご当地CSR活動部門

I Love いばらき～広めよう 地域のエコツーリズム～



取り組み概要

Project Summary

茨城県の魅力を知ることのできる、全5回のエコツーリズムを企画しました。

- 【第1弾】茨城の歴史と文化に触れる研修会
- 【第2弾】海岸清掃とバーベキュー交流会
- 【第3弾】感性を高める芸術との触れ合いと郷土料理の試食ツアー
- 【第4弾】霞ヶ浦北浦における生態系の学習と外来魚駆除釣り大会
- 【第5弾】青年部設立10周年に向けた「どんぐりの里親プロジェクト」

第1弾・第2弾では観光PR、第3弾では地元観光地の美化活動を行い、第4弾では地元大学生が行う研究活動のPRや水産資源の保全に取り組み、第5弾の「どんぐりの里親プロジェクト」では、荒れた里山の復元によりCO₂の適正吸収や森林の保全に貢献します。



取り組み概要図

Project Diagram

エコツーリズム第1弾 「茨城の歴史と文化に触れる研修会」



平成25年9月5日(金)
協力
茨城県立歴史館
芝地工芸の店

エコツーリズム第2弾 「海岸清掃とバーベキュー交流会」



平成25年9月28日(土)
協力
日立市ボランティア協議会
日立市社会福祉協議会

エコツーリズム第3弾 「感性を高める芸術との触れ合いと郷土料理の試食ツアー」



平成26年1月18日(土)
協力
茨城県天竺山記念五浦記念館
関帝「文成に輝く」

第1・2弾 観光PR

第3弾 地元観光地美化

エコツーリズム第4弾 「霞ヶ浦北浦における生態系の学習と外来魚駆除」



平成26年7月19日(土)
協力
茨城大学
茨城県水産資源科学教育センター

エコツーリズム第5弾 「どんぐりの里親プロジェクト in いばらき」



平成26年8月～(継続事業)
協力
環境を守る企業人会
～The Style いばらき～

第4弾 生態系保護

第5弾 森林保全

県の魅力
向上！





取り組みによる効果

Project Outcome

取り組み費用

約60万円



取り組み期間

平成24年4月
より継続中



一般社団法人 茨城県産業廃棄物協会青年部



企業プロフィール

Company's Profile

名称

一般社団法人茨城県産業廃棄物協会青年部

設立

昭和54年12月24日

代表者

深澤正勝

資本金

0円

所在地

茨城県水戸市笠原町978-25 茨城県開発公社ビル4階

事業内容

会員・業者および地域住民に対する各種相談・指導・紹介事業、教育研修事業、調査研究事業
情報収集及び提供事業、環境保全対策事業



担当者からのコメント

Comment



取り組み実施の経緯

全国の「魅力度ランキング」において、調査開始以来、ほぼ毎年最下位となっている我ら「いばらき！」地元活性化のために自分たちが出来ることは何か？ 議論を重ねた結果、まずは自分たちが地元の環境を含めた魅力を知ることから始めようとツアー（エコツーリズム）を企画致しました。ツアー内容は地元の歴史文化や環境への関わりを意識し、行政機関の協力を得ながら地元ボランティア団体や学生たちと作り上げました。



波及効果・メリット

魅力度の向上という点では、私たちが実施したツアーをFacebook等で発信することにより、たくさんの「いいね！」を頂きました。地元観光の魅力を多くの方々に広めて行くことができたことと確信しております。様々な活動を幅広く行うことで、これまで青年部事業に参加していなかった会員も、趣味や特技が一致したことにより事業に引き込むことができ、青年部活動の活性化につながったことが一番の成果でした。また、一般の方々との会話のなかで、「ごみ」や「処理業者」に対する認識の違いや誤解が垣間見られました。作業をしながら会話することで、誤解が解けたり、「大変だねえ」などと労りの言葉を頂けることがあり、業界そして地元へ根付く企業として認識して頂くための良い機会が生まれました。



感想・今後の取り組み

設立以来、当青年部は「会員同士の親睦」を目的に交流会を中心とした事業を進めてまいりました。前回のプロジェクト全国大会では、他の協会や業者と比べ認識の甘さや時代からの遅れを感じ、悔しい思いをしましたが、今回の取り組みでは、自分たちに出来ることは何か？を会員ひとりひとりが真剣に考えたことで、事業の素晴らしさは勿論、人材の育成が出来たと感じております。単年度事業では終わらない、今後の青年部事業の「柱」として作り上げて行きたいと思っております。

青年部メンバー



「当地のCSR活動部門」

コンプライアンス部門

環境貢献部門

社会貢献部門

地域貢献部門

ステークホルダーとの共同実施部門

びりり部門

人づくり部門

ご当地CSR活動部門

横浜開港祭支援プログラム



取り組み概要

Project Summary

- ・実施日 2014年5月31日（水）～6月2日（月）
- ・場所 横浜臨港パーク内（横浜市西区）
- ・対象 第33回横浜開港祭来場者
- ・内容 エコステーションによるイベントゴミの分別とリサイクル実施
- ・参加者 青年部会会員 会社29社 延べ224名

イベント期間中、来場者に廃棄物を自ら分別してもらう「エコステーション」を7箇所を設置し、当協会のPR活動を行うとともに開港祭来場者に対して環境に配慮した分別指導を行いました。エコステーションには飲み物や食べ物の廃棄物をビニール袋に詰めて持ち込まれるため、スタッフは袋を空けてプラ容器や生ごみ等に分別をお願いしました。



取り組み概要図

Project Diagram



エコステーションでの来場者への分別指導の様子



参加者



取り組みによる効果

Project Outcome

プログラム参加者 延べ224名の昼食代

取り組み費用 **約13.5** 万円 

取り組み期間 **平成24年5月31日～6月2日** 



公益社団法人 神奈川県産業廃棄物協会



企業プロフィール Company's Profile

名称	公益社団法人 神奈川県産業廃棄物協会	設立	平成元年4月1日
代表者	古敷谷裕二	資本金	0円
所在地	神奈川県横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル4階		

事業内容

【公益目的事業】①産業廃棄物の適正処理のための法的事項、安全衛生等の普及啓発及び情報提供等による普及啓発 ②産業廃棄物の適正処理に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成 ③産業廃棄物に関する相談対応、指導・助言及び処理業者の紹介 ④災害廃棄物の処理の支援等

【共益事業】①会員及び会員の従業員の元気回復、憩親等の福利厚生に関する事業 ②会員及び会員の従業員の県外施設見学会等に関する事業 ③会員に対する法令集、技術資料集、手引書等の配布に関する事業

【管理事業】①総会、理事会等の開催 ②組織の強化・拡大、加入促進 ③事務局の運営、4公益法人制度改革



担当者からのコメント Comment

取り組み実施の経緯

横浜開港祭の来場者に対しゴミの分別指導を行い、『分ければ資源、捨てればごみ』について学んでもらうことを目的としています。最終日のクライマックスの花火の打ち上げはスタッフもしばしの間、夜空一杯に広がる花火を鑑賞しました。花火終了後は一転して各エコステーションにはゴミを手にした来場者が殺到しましたが、各ステーションの大活躍により、持ち込まれた大量の廃棄物を回収しました。来場者が去り静けさが戻った会場では、廃棄物のプロである青年部会メンバーが総出で活動し、山と積まれたゴミの開封と分別作業が深夜まで続きました。

会長 古敷谷裕二



青年部会メンバー



波及効果・メリット

家庭でのゴミの分別は浸透していても、イベントでの分別には驚く方も見受けられましたが、分別後にスタッフから「ありがとうございます」の一言により、「ご苦労様」の声が返ってきました。夫婦連れで、普段、分別をやり慣れていないご主人もスタッフに教えてもらいながらの分別作業に、奥様も「ちゃんと出来るじゃん」と言われている光景がいくつも見られました。分別指導等の長丁場のCSR活動を通じて、協会の社会的認知を高め、青年部会メンバーやその企業で働く従業員にも連帯感が生まれ、団結力が強まりました。

感想・今後の取り組み

日頃家庭では分別できていても開港祭イベントでは、何もかも一緒にビニール袋に詰められて持ち込まれるため、ひとりひとりに説明をして分別してもらいます。家族連れで開港祭に来場された小さいお子様やご主人が代表して持ち込むケースがあり、この支援プログラムをきっかけに、イベントゴミに限らず家庭ごみの分別においても意識を高め、資源の有効利用について理解してもらうことができ、当協会のPR効果も含め大きな意味があります。

「当地CSR活動部門」

コンプライアンス部門

環境貢献部門

社会貢献部門

地域貢献部門

ステークホルダーとの共同実施部門

びりり部門

人づくり部門

コンプライアンス部門

安全委員会



取り組み概要

Project Summary

メンバーはリサイクル事業部、環境事業部、開発事業部、営業部の各担当者から構成され、月に一回の定例会議を行っています。工場等の危険箇所を挙げ改善策を話し合い、行動に移せるように指示、指導を行います。定例会議だけでなく工場内の安全パトロールや従業員を対象とした勉強会も行っており、安全に対する意識向上に努めています。

取引先への配布・HPへの掲載

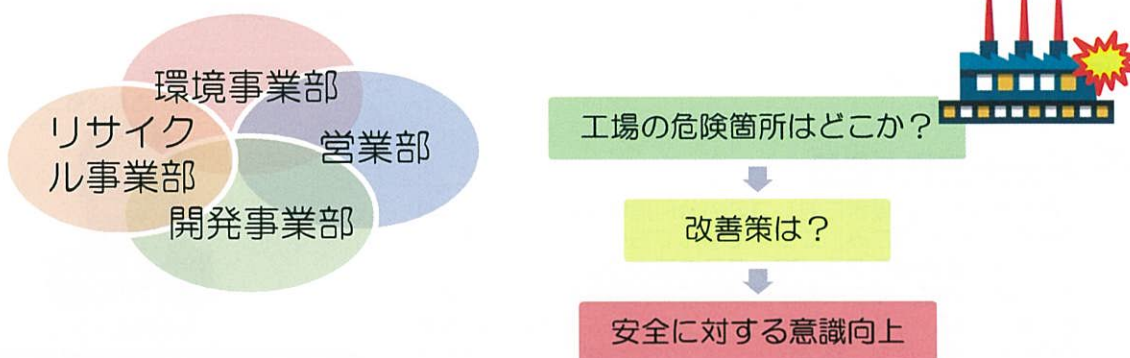
⇒ 加藤商事株式会社の社会環境活動への取り組みや考え方を広く発信
社内閲覧

⇒ 自社の取り組みへの理解を深める



取り組み概要図

Project Diagram



取り組みによる効果

Project Outcome

取り組み費用

0 円



取り組み期間

毎月第1月曜日



近畿環境保全株式会社



企業プロフィール

Company's Profile

名称 近畿環境保全株式会社 **設立** 昭和50年6月11日

代表者 西村忠浩 **資本金** 1,600万円

所在地 滋賀県草津市青地町196番地

事業内容

事業内容：産業廃棄物収集運搬・積替え保管／中間処理【破碎・圧縮・溶融】
一般廃棄物収集運搬／中間処理【破碎】
特別管理産業廃棄物収集運搬、リサイクル【再生加工・販売】
土木・解体工事一式



担当者からのコメント

Comment



取り組み実施の経緯

「無事故・無災害」を目的に従業員が自主的に立ち上げた委員会です。当社の仕事や作業の危険性を把握し発生しないため、あるいは危険性を削減するために活動しています。



波及効果・メリット

2013年9月の台風18号により当社工場が被災し、大きな損害を受けたことからハザードマップを作成し水害対策を強化しました。定期的にヒヤリ・ハットやリスクアセスメントを行い、自分たちで危険な個所・作業を挙げ様々な意見を出し改善していくことで、安全への意識を高めていくことができます。



感想・今後の取り組み

将来の担う経営者への想いをこめて将来、代表になった人にも、自分と同じ想いをもって会社経営にあたって欲しいと思っています。そのためにも、今一度CSRに対する自らの考えを形にまとめ、ステークホルダーの皆様と共有・発展させていきたいです。

プロジェクト担当 牧 大地



「ご当地」CSR活動部門

コンプライアンス部門

環境貢献部門

社会貢献部門

地域貢献部門

ステークホルダーとの共同実施部門

びりり部門

人づくり部門

環境貢献部門

動脈物流と静脈物流の一体化の継続製品配送時に
 帰り便を使用した廃材回収を行うことによる運搬効率の向上とCO₂排出抑制



取り組み概要

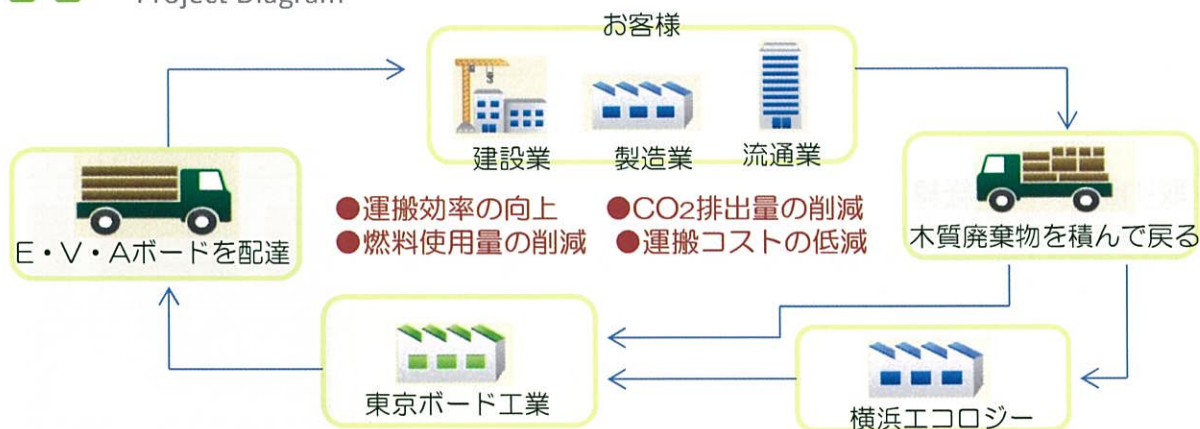
Project Summary

- 帰り便実績 2008年5月～2014年6月25日 1,115現場対応いただきました。
 ※製品搬入ゼネコン及び施工業様にご理解いただいております。
- 新人研修プログラムとして、2013年以降、5人が日野自動車での省燃費運転講習に参加しています。全社員には月々まとめた個人燃費グラフを参考に、省燃費運転の効果を従業員に報告、説明しています。



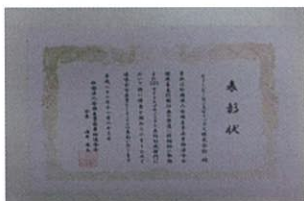
取り組み概要図

Project Diagram



製品帰り便システム

E・V・Aボードを建築現場に配達し、その現場から原材料となる木質廃棄物を回収することで、1台で2台分の作業が行え、運搬効率の向上、並びにCO₂排出抑制の面から環境への負荷低減につながり、トータル運搬コストも抑えられます。



CO₂マイナスプロジェクト
 受賞



取り組みによる効果

Project Outcome

取り組み費用

0 円



取り組み期間

2008年5月2日～
継続中



ティー・ビー・ロジスティクス株式会社



企業プロフィール

Company's Profile

名称 ティー・ビー・ロジスティクス株式会社

設立 平成9年4月4日

代表者 津山一正

資本金 1,200万円

所在地 埼玉県八潮市浮塚100番地

事業内容

一般貨物自動車運送事業、産業廃棄物収集運搬業、廃棄物に関するコンサルティング業務及び調査・研究



「」当地のCSR活動部門

コミュニティ・マネジメント部門

環境貢献部門

社会貢献部門

地域貢献部門

ステークホルダーとの共同実施部門

びりり部門

人づくり部門



担当者からのコメント

Comment



取り組み実施の経緯

ティービーロジスティクス(株)では、CSR活動としてボランティア活動など多方面において行っておりますが、今回の活動は通常の運送業務の延長線でございます。

平成22年11月23日に横浜市で行われた(社)全国産業廃棄物連合会全国青年部協議会全国大会『マイナスプロジェクト』の結果報告にて【共同削減部門 全国連合会会長賞】を受賞致しました。(エントリー2016社・事例報告690社814事例)

代表取締役 津山一正



波及効果・メリット

実施事項の継続により環境に対する従業員ひとりひとりの意識向上を図ることで、事務所は勿論、各家庭においても節電等環境意識が浸透します。ひとりひとりの小さな活動ですが、大きく考えると地球温暖化防止に貢献できるかと思えます。

当プロジェクトはもとより、省燃費運転やアイドリングストップを行うことで、CO₂排出量の削減になり排出業者様にも、ティービーロジスティクスを使って頂くことで環境貢献につながっていると思っております。



感想・今後の取り組み

弊社のCSR活動として事業で発生する環境負荷を低減するため、CO₂排出量の削減に取り組んでおります。今後も排出事業者様へ当該プロジェクトを推進し運搬効率及びCO₂排出抑制に努めてまいります。また、新人教育時のカリキュラムにも引き続き省燃費運転講習を受講し、プロドライバーとして運転技術の向上と環境への配慮を自覚してもらいたいと思っております。

社会貢献部門

琵琶湖森林づくりパートナー協定



取り組み概要 Project Summary

当社と他2社の合計3社が、三雲生産森林組合様との間で結んだ「琵琶湖森林づくりパートナー協定」により、当社は森林づくりにかかる費用や労働力を提供し、森林整備の推進に努めています。具体的には下刈、除伐、間伐作業、枝打ちを行っています。また、3社の支援による森林整備の内容を滋賀県庁森林政策課に申請し、CO₂吸収証書を受けました。前年のCO₂吸収量は68t、2009年からの合計は144tとなっています。




取り組み概要図 Project Diagram



取り組みによる効果 Project Outcome

取り組み費用
協賛金 50 万円 

取り組み期間
2009年より
継続中 

近畿環境保全株式会社



企業プロフィール Company's Profile

名称 近畿環境保全株式会社 **設立** 昭和50年6月11日
代表者 西村忠浩 **資本金** 1,600万円
所在地 滋賀県草津市青地町196番地

事業内容

産業廃棄物収集運搬・積替え保管／中間処理【破碎・圧縮・溶融】
一般廃棄物収集運搬／中間処理【破碎】
特別管理産業廃棄物収集運搬、リサイクル【再生加工・販売】
土木・解体工事一式



「1」当地CSR活動部門

コンプライアンス部門

環境貢献部門

社会貢献部門

地域貢献部門

ステークホルダーとの共同実施部門

びりり部門

人づくり部門



担当者からのコメント Comment

取り組み実施の経緯

当社は自然環境との調和を目指すため、琵琶湖の大切な自然の環境保全に貢献するように努めています。森林が元気でなければ水と土は元気にならない、という考えのもと、森林づくりの取り組みを始めました。

プロジェクト担当 牧 大地



波及効果・メリット

琵琶湖の水源でもある森林を整備し、地元である三雲の里山を保全する事でCO₂の吸収量を増やし、地球温暖化の防止にも貢献しています。森林づくりを通して私たちの暮らしの支えとなっている琵琶湖の水源を守る事になります。また、間伐作業を通して排出された間伐材の一部は、当社のリサイクル工場で処理し有効利用しています。

林づくりは、地元の里山を守るという事だけでなく、地域の方やお客様とコミュニケーションをとる事ができます。また、社内スタッフのチームワークと環境意識の向上にもつながります。

感想・今後の取り組み

「琵琶湖森林づくりパートナー協定」により、県や三雲生産森林組合と協力して環境に良い地域づくりと基盤づくりに取り組みます。この活動を通して、未来の子供たち、地元社会へ健全な自然を残していけるように努めていきます。

地域貢献部門

子供ちょうさへの貢献プロジェクト



取り組み概要

Project Summary

太鼓の練習用に会議室を開放、唄や叩き方の指導、巫女さんの衣装合わせに事務所を開放、会社の倉庫の空いたスペースに担ぎ棒等のちょうさの備品を保管、ちょうさ提灯用のバッテリー、インバーターを貸与、備品等運搬用の2 tトラック・4 tユニック車、ちょうさ回送用の10 t回送車を配車・運行しました。

また、会社駐車場・車庫を休憩箇所として、奉納時に開放、子供達の反省会（バーベキュー、ゲーム等）の場所を提供、奉納時の記念写真のプリント、配布等を行いました。



取り組み概要図

Project Diagram



昨年の奉納時の集合写真等です。右下の写真の子供達の笑顔が最高です。町内からの参加者、大人・子供あわせ、総勢150名以上でした。



取り組みによる効果

Project Outcome

取り組み費用

0 円



取り組み期間

継続中



福井興業株式会社



企業プロフィール

Company's Profile

名称 福井興業株式会社

設立 1954年

代表者 福井正雄

資本金 1,000万円

所在地 香川県高松市元山町948番地1

事業内容

運送事業、資材調達、建設事業、環境事業、不動産事業、損害保険事業



「当地」CSR活動部門

コンプライアンス部門

環境貢献部門

社会貢献部門

地域貢献部門

ステークホルダーとの共同実施部門

びりり部門

人づくり部門



担当者からのコメント

Comment



取り組み実施の経緯

平成8年、地元町内の子供達のために、子供ちょうさ(太鼓台)がつくられたことがきっかけです。

ちょうさ奉納を通じて祭りの伝統文化を継承し、郷土への関心と愛情を深め、健全なる子供育成を通じて、次世代への人間形成に役立たせることとし、町民相互の親睦と郷土の発展に寄与することを目的とすることに賛同し、会社をあげて同奉納行事等へ積極的に協力するようになりました。

プロジェクト担当 福井裕輔



波及効果・メリット

従業員みんなが形だけでなく、心底地元で立脚した会社という意識をもつことができ、またそういったイメージを発信できていると思います。



感想・今後の取り組み

商売であれ、生活であれ、地元との親睦・融和ぬきでは成り立たないと思います。とくに商売というものは、自らの足元が不安定なようでは、まわりへ広がっていくこともできないと思います。まずは、自分の足元から！祭りに参加した子供達と道ですれ違った際、純真な目をして元気よく挨拶してもらったり、奉納に協力して休み返上で重たいちょうさを担いでくれた地元の人々を見て、自分達の町が誇らしく思えたりするのは素晴らしいことだと思います。

弊社は、創業以来約60年地元町内に事務所・倉庫・車庫・整備工場等を構えて営業してまいりました。業種から大型自動車の通行や騒音等の諸問題はございますが、近隣住民の方々の御理解・御協力を得てこられたことに対して、こういっただかちで少しでも協力・貢献でき、この町の発展に寄与できればと思います。

ステークホルダーとの共同実施部門

産業廃棄物処理の実際、はじめの一步プロジェクト

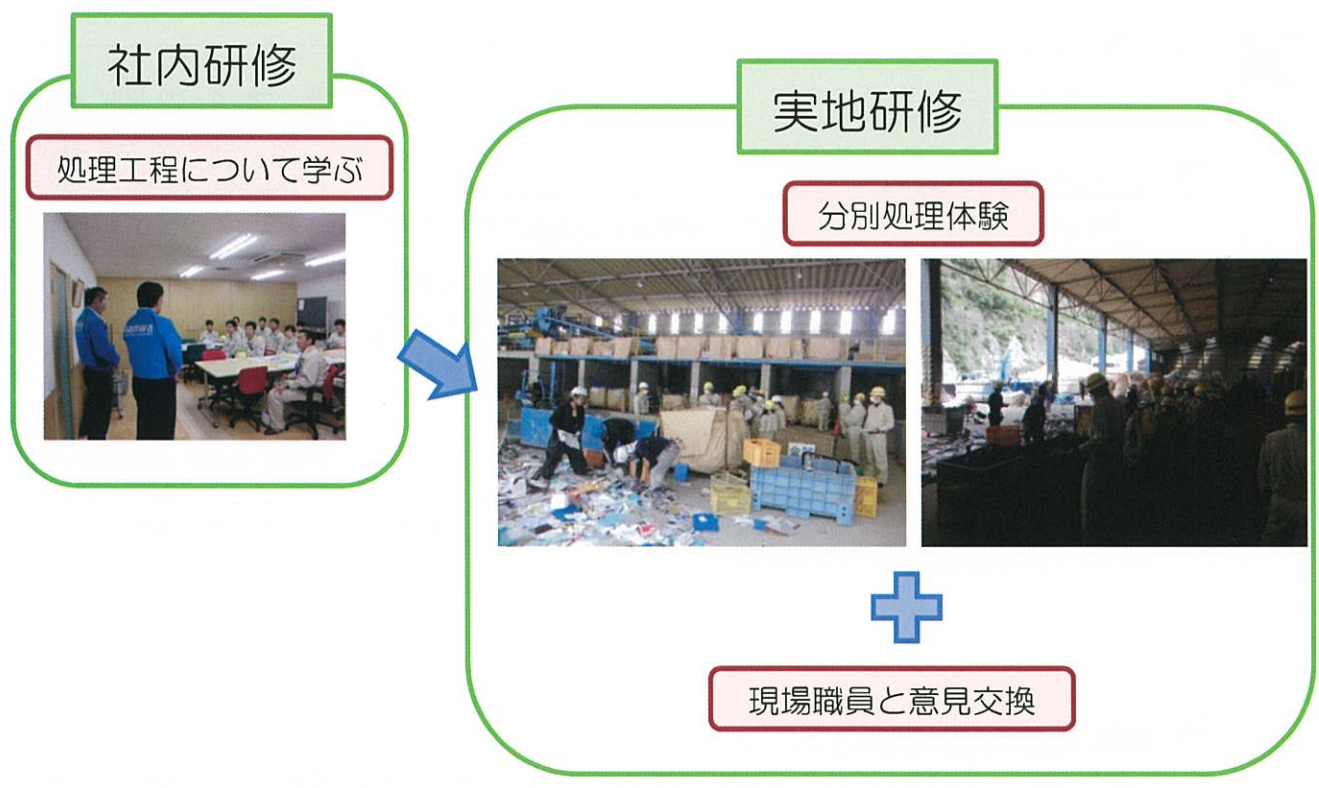


取り組み概要 Project Summary

当社処分場にて全体の処理工程及び各種処理技術を講義した後、品目ごとにどのように処理されているか、現場にて実地研修を行いました。特に混合廃棄物がどのような状態にあり、如何に苦勞をしているか体験してもらった上で、現場担当職員との活発な意見交換が行われました。（参加者数11名）



取り組み概要図



取り組みによる効果 Project Outcome

取り組み費用
研修用資料作成 10 万円 

取り組み期間
継続中 

株式会社三和興業



企業プロフィール Company's Profile

名称	株式会社三和興業	設立	1963年4月
代表者	大山哲寿	資本金	3,000万円
所在地	福岡県福岡市東区千早2-2-43 sanwaビル3階		
事業内容			

解体・移設工事、既設杭抜き工事、建材販売、土木工事、産業廃棄物処理



「当地CSR活動部門

コンプライアンス部門

環境貢献部門

社会貢献部門

地域貢献部門

ステークホルダーとの共同実施部門

びりり部門

人づくり部門



担当者からのコメント Comment



取り組み実施の経緯

大手建設会社から新入社員向けの環境教育を行いたいとの相談がありました。当該企業では、関連法規や必要な手続きについて座学による研修は行っていたが、産業廃棄物処理について知見豊かな人材を育成する為、現場の実践を教えてほしいとのことでした。

代表取締役社長 大山哲寿



波及効果・メリット

この度の試みにより、将来排出事業所責任者（作業所長等）になるであろう若い人材に、廃棄物適正処理と現場分別の重要性を理解していただいたと思います。とかく排出者側がコスト至上主義に陥りやすい産廃処理ですが、リサイクル率を向上する為に処理会社が行っている努力を先方に見ていただけました。この取り組みが継続されることによって、環境意識の高い建設業従事者が増えていき、建設業界全体のポトムアップにつながると考えます。



感想・今後の取り組み

処理の現場で汗と埃にまみれながら働いている職員に、日頃スポットライトが当たることは多くありません。今回の試みにおいて、数ある契約企業の中で総合的かつ適正に処理を行っている点で当社が指名を受けたことは名誉であり、大いに職員の励みになります。現場の川上と川下の担当者同士が直接触れ合う機会自体が少ない中で、直に意見を交換できたのも大きな意味があります。また、研修内容の企画段階から先方と繰り返し協議をしてきました。ステークホルダーと協働で進めていく適正処理という新たな意識が芽生えるきっかけとなりました。

当社の理念は「持続可能な社会で人々を幸せに」です。私たちの日々の業務そのものが、理想とする社会形成に少しずつ、少しずつ貢献していると考えます。今後も事業を通じて環境負荷の低減を図り、循環型社会・自然共生型社会・低炭素型社会の実現を目指します。

ぴりり部門

復活・輝くミラー作戦



取り組み概要

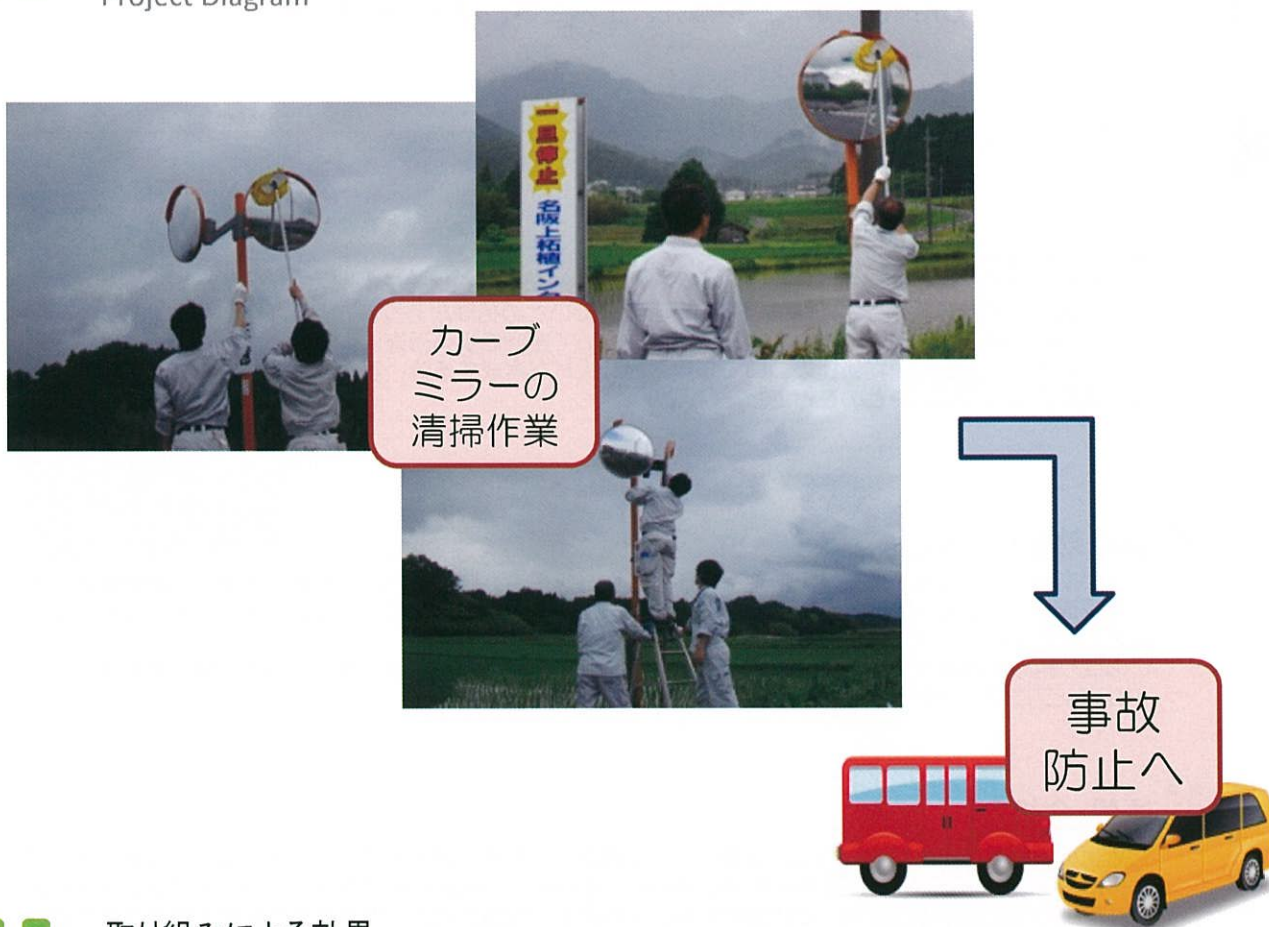
Project Summary

平成26年6月7日従業員23名が、地元管轄警察署に事前確認を取り、1班3～4名、5班に分かれて、日頃通行する地元道路、また通学路に設置されている、カーブミラーの清掃作業を行いました。



取り組み概要図

Project Diagram



取り組みによる効果

Project Outcome

取り組み費用
雑費 9,000 円 

取り組み期間
継続中 

甲陽興産株式会社



企業プロフィール Company's Profile

名称 甲陽興産株式会社

設立 昭和46年1月21日

代表者 北角治太

資本金 1,000万円

所在地 滋賀県甲賀市甲賀町大原市場922番地

事業内容

産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業、一般貨物自動車運送事業、金属くず商、古物商、とび・土工工事業（解体工事）、環境改善に関するコンサルタント業務



1. 当地のCSR活動部門

コンプライアンス部門

環境貢献部門

社会貢献部門

地域貢献部門

ステークホルダーとの共同実施部門

びりり部門

人づくり部門



担当者からのコメント Comment



取り組み実施の経緯

悲惨な交通事故が発生している現状を受け、日頃使用させて頂く道路の交通事故の防止を願い、カーブミラーの清掃活動を行う事にしました。

プロジェクト担当 中田滋久



波及効果・メリット

このプロジェクトを実行した事で、カーブミラーの汚れ・曇りが取れて見通しが良くなり、地域の皆様にも安全なミラーになりました。作業中に近所の方から、よく見えるようになったと声を掛けられ、安全の為に少なから役に立てたかと思っています。

従業員が清掃作業を行ったことにより、道路を利用する通勤中や業務中以外でも、今までと違った危険予知運転が出来ると共に、安全意識の向上に役立てられました。



感想・今後の取り組み

日々使用させて頂く道路にあるカーブミラーを心を込めて清掃する事で、社員が事故防止、無事故無違反への想いを改めて強く心に期しました。また合わせて、地域の方に声をかけて頂く事で、プロドライバーとしての自覚と責任の重さを再確認してもらえると期待し、実地しております。

ぴりり部門

KOTOKU GROUP 恋するフォーチュンクッキープロジェクト

ぴりり部門



取り組み概要 Project Summary

AKB48の恋するフォーチュンクッキーの曲に合わせて社員が踊り、会社内の設備や社員の雰囲気を感じて貰える動画になっております。その動画をYouTubeでアップし、より多くの一般ユーザーの方に見てもらい、廃棄物業者に対して明るいイメージを持って貰えればと思います。

<https://www.youtube.com/watch?v=PJ9tpp9w-Tk>

※YouTubeで「興徳クリーナー、恋するフォーチュンクッキー」と検索。



取り組み概要図 Project Diagram



取り組みによる効果 Project Outcome

取り組み費用

撮影及び編集・PR用カード作成等 **16** 万円



取り組み期間

**2013年12月～
2014年3月**



株式会社興徳クリーナー



企業プロフィール

Company's Profile

名称 株式会社興徳クリーナー **設立** 1970年6月

代表者 片瀨昭人 **資本金** 3,000万円

所在地 大阪府岸和田市尾生町1649番地の1

事業内容

産業廃棄物の中間処理及び清掃業務



「当地」の活動部門

コンプライアンス部門

環境貢献部門

社会貢献部門

地域貢献部門

ステークホルダーとの共同実施部門

びりり部門

人づくり部門



担当者からのコメント

Comment



取り組み実施の経緯

社員のモチベーションアップの為に、会社で何か一致団結し行えることはないか？を考えてこの企画を実施致しました。弊社は、世界の環境保全に貢献することを使命に掲げ、「人を大切に、物を大切に。」をモットーに事業活動しております。その中でも人の重要性は高く、業務スタッフにも様々な教育を実施しております。しかし、会社の雰囲気良くするためには社員教育だけで不十分な為、このような楽しい企画を実施しました。

プロジェクト担当 片瀨則人



波及効果・メリット

AKB48の恋するフォーチュンクッキーの曲に合わせて社員が踊り、会社内の設備や社員の雰囲気を感じて貰える動画になっております。その動画をYouTubeでアップし、より多くの一般ユーザーの方にみてもらい、廃棄物業者に対して明るいイメージを持って貰えればと思います。



感想・今後の取り組み

社員全員で廃棄物処理業界のイメージアップを狙い、今後はより親しみやすい業界であることを世間にわかっても貰いたいです。社員が会社で仕事をし、自信の豊かな自己実現の為に、前向きに仕事に取り組み、結果お客様へのサービス向上へと繋がると考えております。企画当初は恥ずかしさや、踊れない、といった反対意見が多く、この企画に対してはハードルが高いと感じましたが、撮影が進むにつれて皆笑顔で撮影に協力してくれました。完成した動画をみて、やって良かったなと感じました。会社の良い雰囲気作りは永遠のテーマなので、このような企画を続けて行きたいと思っております。